



春の食べ物

吉田企世子

春の代表的な旬の野菜、果物、魚介を紹介。旬を知り、その価値を学ぶ。春のごちそうとそのレシピも。生産者インタビューも掲載して、現場の声を届ける内容となっています。(あぶた読書の家所蔵)

# 読書の家から

**あぶた読書の家** (☎ 76-2100)  
[時間] 10時～16時30分 [休館日] 木曜日、祝日  
**みずうみ読書の家**(☎ 76-2100(あぶた読書の家))  
[時間] 9時～17時 [休館日] 木曜日、祝日  
**洞爺総合センター図書室** (☎ 82-5111)  
[時間] 9時～16時30分 [休館日] なし

## 新刊案内

### あぶた読書の家

▲一般▽分水 隠蔽捜査II(今野敏)▽被告人、AI(中山七里)▽春かざら(澤田瞳子)▽あしたの肖像(岩井圭也)▽八州の風手控え帳(あさのあつこ)▽サチコ(群ようこ)▽桜葬(斎堂琴湖)▽憤怒の人 母・佐藤愛子のカケラ(杉山響子)▽こんな幸福もある(佐藤愛子)▽花屋さんが夢見ることには(山本幸久)▽一文字助真(佐伯泰英)

▲**児童書**▽ちいさなふたりのいえさがし(たかおゆうこ)▽につげろー!(kata a kata)▽ゴシゴシどろんどろん(ミノオカ・リョウスケ)▽どうやってできるの?ラーメン(田村孝介)▽パンズー(misato)▽きゅううきゅうしゃ しゅつどう!(はっとりひろき)▽こわいこわくない(いしばしゅうすけ)▽シマエナガのずかん(ピヨ手帖)▽川底のひみつの街(カチャ・ベール)

### 洞爺総合センター図書室

▲一般▽熟柿(佐藤正午)▽明日、あたらしい歌をうたう(角田光代)▽劇場という名の星座(小川洋子)▽すべてが円くなるように(原田マハ)▽彼女たちは楽園で遊ぶ(町田そのこ)

▲**児童書**▽デコピンのとくべつないちにち(大谷翔平)▽さいあくないちにち(サトシン)▽こいのぼりぐんぐん(おおいじゅんこ)▽はやくおきなきやたいへんだ!(サトシン)▽ろめんでんしゃが とおります(溝口イタル)

**絵本の玉手箱 5月のおはなし会**  
 ■日時 ①5月12日(火)、5月26日(火)10時～11時30分②5月15日(金)14時～15時30分  
 ■場所 ①あぶた母と子の館②あぶた読書の家  
**キッズタイム**  
 ■日時 5月23日(土)10時～11時30分  
 ■場所 あぶた母と子の館  
 ■対象 乳幼児および保護者  
 ■問合せ 佐藤 (☎ 76-2487)

## 地域おこし協力隊 通信 vol.96

今月のリポーター  
白川美穂さん



### 硫黄の香りかおる温泉

のまち・登別から火山との共生や減災文化が根付くこのまちへやってきました。

50<sup>+</sup>ほどの移住ですが、4月上旬には庭のツツジやクロッカスなど次々に開花し、いち早い春の到来と気候の違いに驚きました。以前から、気候の良さを聞いていたものの、噴火湾や洞爺湖、有珠山などの地形が織りなす暮らしさやさは、縄文時代から折り紙つきだったことを実感しています。

職場の駐車場からは有珠山と洞爺湖、湖面越しの羊蹄山を臨むことができ、大地のエネルギーと、共に生きる皆さんの日常の豊かさを見ることができています。さて、私の役割は、この

素晴らしい「洞爺湖有珠山ジオパーク」の自然を深く体験していただくツアーの推進や環境整備です。単に人を呼ぶだけでなく、地域の皆さんが大切にしてくれた自然やマナーを守りながら、まちの魅力を伝えていく仕組みづくりにも貢献したいと考えています。

北海道の観光業では今、体験観光やアドベンチャー、ガイドの役割がますます重要になっています。

洞爺湖有珠山ジオパークも多くの人たちの関わりで魅力が形成され、今後さらに注目されるポイントです。これからも多くの人に知っていただけるように取り組みます。どうぞよろしくお願いたします。